

No.1 ゲーム総合誌『週刊ファミ通』発表！**7100人以上が選んだ“平成のゲーム 最高の1本”****第1位は1995年発売『クロノ・トリガー』！**

ゲーム総合誌『週刊ファミ通』（発行：株式会社Gzブレイン、編集長：林克彦）は、4月25日（木）発売、2019年5月16日増刊号の平成振り返り特集において、平成時代に発売されたゲームタイトル※のなかで、ゲームファンがもっとも心に残った1本を選出する“平成のゲーム 最高の1本”の投票結果を発表します。

【平成のゲーム 最高の1本 TOP3】**第1位：『クロノ・トリガー』** 

（230票） スクウェア・エニックス（当時・スクウェア）／1995年（平成7年）3月11日発売／スーパーファミコン

第2位：『ゼルダの伝説 ブレス オブ ザ ワイルド』

（209票） 任天堂／2017年（平成29年）3月3日発売／Nintendo Switch・Wii U

第3位：『NieR: Automata（ニーア オートマタ）』

（205票） スクウェア・エニックス／2017年（平成29年）2月23日発売／プレイステーション4

有効回答数：7158人、集計期間：2019年4月3～8日、ファミ通.comにてアンケートを実施。
タイトルの発売日・ハードは、日本で初めて発売されたときのものを掲載。

1989年の平成元年から約30年続いた平成の時代、さまざまなハードで数多くの名作が発売されてきました。いよいよ5月から始まる新時代「令和」に向けて、『週刊ファミ通』では、平成に登場したゲームの中から最高の1本を選出するアンケートを実施。7100人以上ものゲームファンから回答が集まりました。

1位に輝いたのは、1995年（平成7年）に発売されたスーパーファミコンの名作RPG『クロノ・トリガー』です。“ストーリー、シナリオ、音楽すべてがいまでも色褪せない名作（30代・男性）”、“クロノ（主人公）たちと時を超えて旅をした思い出は一生忘れられない（30代・女性）”など、おもに直撃世代といえる30代から圧倒的に支持されました。『ドラゴンクエスト』の堀井雄二氏、鳥山明氏、『ファイナルファンタジー』の坂口博信氏が手を組んだドリームプロジェクトに胸を躍らせたファンや、当時画期的だったマルチエンディングで「何周もやり込んだ」と思い出を語るファンからのコメントも多く寄せられました。

2位にランクインしたのは、2017年（平成29年）にNintendo SwitchとWii Uで発売された『ゼルダの伝説 ブレス オブ ザ ワイルド』です。“このハイラルという土地で生きると錯覚させられた（20代・男性）”、“見える場所どこでも行けるすばらしさ（50代・女性）”といった、『ゼルダの伝説』シリーズ初で最大の特徴といえるオープンワールドの世界とその完成度の高さに、年齢・性別問わず多くのファンが大絶賛しました。

僅差で3位となったのが、2017年（平成29年）にプレイステーション4で発売された『NieR: Automata（ニーア オートマタ）』です。“こんなにも心を動かされたゲームはない（10代以下・男性）”、“このゲームで、言葉にできない感情を知った（20代・女性）”など、とくに10代以下と20代からの得票が多く、ヨコオタロウ氏が手掛ける独特な世界観やシナリオに心を掴まれたファンから熱い声が多数届きました。

『週刊ファミ通』2019年5月16日増刊号では、本ランキングの上位20タイトルを、投票時に寄せられた思い出のコメントとあわせて発表、年代別のランキングや人気シリーズ別ランキングも紹介しています。そのほか、平成のゲーム業界をあらゆる角度から総括する、全74ページの平成振り返り大特集を掲載しています。

平成最後の『週刊ファミ通』。「平成」の締めくくりに、平成を振り返る総力特集をお届け！

<商品概要>

書名：週刊ファミ通 2019年5月16日増刊号
発売日：2019年4月25日(木)
価格：580円(税込)
付録：ファミ通オリジナルダウンロードコンテンツ、特別小冊子(36ページ)

<おもな記事>

★もうすぐ令和がスタート！その前に激動の平成ゲーム史を振り返る

【その1】平成のゲーム業界の重大ニュースをさまざまな角度から振り返ります。

【その2】平成に発売されたゲームの中から“平成最高の1本”を選んでもらう読者アンケートの集計結果を、ランキング形式で発表します。

【その3】本誌編集者も平成最高のゲームを選出。読者との違いは!?

【その4】令和に飛躍が期待される若手クリエイターがゲームファン、ゲーム開発者として育った平成を振り返り、令和に向けた意気込みを語ります。

【冊子】平成時代のファミ通に掲載されたVIPインタビューを厳選して付録冊子に。時代を担うVIPたちの金言は、いま読んででも響くものばかり。

★ついに発売される大作『Days Gone』ほか平成最後の発売・配信記念特集も大充実

リアルなサバイバル体験が楽しめる『Days Gone(デイズ・ゴーン)』がついに発売。そのほか、『スターリンク バトルフォー・アトラス』や『ハコボーイ! & ハコガール!』など、平成最後に出るゲームたちの発売・配信記念特集をお届け。



▲『週刊ファミ通』2019年5月16日増刊号
表紙イメージ

ファミ通が平成30年間のゲームにまつわる出来事をまとめた『ゲームと平成』、好評発売中！

<商品概要>

書名：ゲームと平成
発売日：2019年3月30日(土)
価格：999円(税込)

<おもな内容>

★年表で振り返るゲームと平成

平成元年1月から平成31年3月中旬までのゲーム業界と世の中の出来事を年表に集約。

★写真と記事で振り返るゲームと平成

「ストリートファイターII」大ヒットや中古ソフト裁判といった、世の中に大きな影響を与えた出来事をゲーム年表からピックアップ。当時の写真や『週刊ファミ通』記事で深掘りし、掲載。

★巻末特別企画：ゲームメディアの視点から見たゲームと平成

ゲームとともに歩んできたファミ通グループ代表・浜村弘一が、平成時代のゲームについて考察。



▲『ゲームと平成』表紙

◆『週刊ファミ通』について



1986年に『ファミコン通信』として創刊した、毎週木曜日発売のNo.1ゲーム総合誌。家庭用ゲームからゲームアプリ・アーケード・PCまで幅広くゲーム情報を網羅しています。

ファミ通.com: <https://www.famitsu.com/>